

<p>採痰室（複十字病院） T・W 電話ボックスほどの安価な採痰ブースも開発されています 待合室（複十字病院） T・W HEPA フィルター 診察室（日本医大） ナース室（複十字病院） 病室（複十字病院） マスクの着用（日本医大） T・W N95 マスク 一般病棟の廊下（日本医大）</p>	<p>先的に診察するようにします。</p> <p>N 院内の施設では、まず採痰室を設けることが大切です。採痰する時、咳の誘発で菌が飛び散るのを防ぐことができますからです。</p> <p>N 結核患者専門の待合室や診察室の天井には結核菌を除去するための HEPA フィルターのついた換気装置が設置されています。</p> <p>N 大規模な空調工事が不可能な場合は、小型のHEPA フィルターを設置することも有効です。</p> <p>N ナース室には、各病室内を陰圧に制御するコントロールパネルがあります。</p> <p>N 病室内の空気圧を下げることにより、空気が結核菌と共に外に流れるのを防いでいます。</p> <p>N 室内は独立した換気を行い、HEPA フィルターを設けます。</p> <p>N 医療従事者が、感染のリスクの高い区域に入るときは、結核菌の吸い込みを防止するため、特殊なマスクを着用します。</p> <p>N 顔に密着させ、ゴムバンドで固定し、空気の漏れがないことを確認します。</p> <p>N 院内感染を防ぐため、一般の総合病院でも、ドアを二重にしたり、内部の陰圧を保つなど、さまざまな対策を取り始めています。</p>
<p>VII. エピローグ 世界・日本の結核</p> <p>CG 世界の結核発病者数</p>	<p>N ここで世界の結核について見てみましょう。</p> <p>N これは1年間で新たに発生すると推定されている世界の結核患者の数です。そして毎年約 300 万の人々が亡くなっています。</p> <p>N 今後、現状のままであれば、2020 年には、年間の患者発生数は 1060 万人とさらなる増加が予測されています。</p>
<p>背景 途上国イメージ映像 T・W DOTS 戦略 5 つの柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政府が DOTS 戦略へ強力に取り組む 2. 喀痰塗抹陽性患者を最重点とする 3. 患者の服薬を確認する 4. 薬剤安定供給システムを確立する 5. 治療成績を確認し報告する 	<p>N このような状況の中、WHO は結核対策のための一大戦略として、DOTS の実施を重ねて勧告してきました。</p> <p>N ここにあげたのが DOTS 戦略の 5 つの柱です。</p> <p>N 中でも結核患者が、医療従事者の目の前で抗結核薬を飲むのを確かめる治療法が、世界でも注目されています。</p> <p>N 結核対策の先進国オランダでは、早くからこの治療法が実施されています。</p> <p>N ここでは、患者に確実に薬を飲んでもらうために、名前が書かれた専用の箱に、曜日別に薬が用意されています。</p> <p>N そして気軽に薬を飲み立ち寄れるよう、保健婦は患者との信頼関係を築くよう工夫をこらしています。</p> <p>N WHO は、この DOTS 戦略をもとに、世界の結核増加に歯止めをかけようとしています。</p>

T・W 再興感染症 (Re-emergency
Infectious Disease)

N かつて人類が克服したと思われた結核ですが、現在は再興感染症として世界中に深刻な問題を投げかけています。

N また日本では、一日に 120 人の新たな結核患者が出ており、このままでは、結核が再び国民病になりかねません。

N まさに現在、医療にたずさわる者一人ひとりにとって、結核の正しい知識が求められているのです。

<終わり>

IV 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

論文名・雑誌名・号巻数・ページ	刊行年	刊行書店	執筆者名
わが国における結核の蔓延. 臨床と研究 77(4): 668-672,	1997	日本医学 会	森 亨
21 世紀の結核. 感染症と化学療法. 4(1): 44-47	1997		森 亨
BCG 接種の効果—有効性と全体的効果. 病理と臨床	1997		森 亨
15(5): 465-469			
結核の現状と今後. 第 109 回日本医学会シンポジウム記	1997		森 亨
録集 13-19, 1997,			
日本における HIV 感染結核の実態. 結核 72(12): 649-657	1997		森 亨他
サウナでの結核多発の分子疫学的解明. 大都市のホーム	1997		中西好子・森
レスの結核問題に関連して. 日公衛誌 44: 769-778			亨他
これからの結核対策の方向. 公衆衛生 61(12): 874-875	1997		森 亨
多剤薬剤耐性結核菌. 臨床医 23(10): 72-73	1997		森 亨
結核専門家の養成—結核研究所の研修活動から—. 結核	1998		森 亨
72(1): 31-33			
森 亨: 保健所における結核対策のあり方. 日本公衆	1997		森 亨
衛生学会雑誌 44(12): 891-893			
日本における HIV 感染結核の実態. 結核 72: 649-657	1997		森 亨他
AIDS と結核. モダンメディア 43(12): 451-457	1997		森 亨
注目される感染症—現状と予防「結核」. 健康と環境	1998		森 亨
13: 48-53			
日本の結核の将来—最近の動向からの警告. 化学療法の	1998		森 亨
領域 14: 595-598			
多剤薬剤耐性結核. 臨床と微生物 25(2): 131-135	1998		森 亨
我が国における結核の現状と課題. モダンフィジシャン	1998		森 亨
18: 237-242			
日本の結核の将来—最近の動向からの警告. 化学療法の	1998		森 亨
領域. 14(4): 17-20			
日本の結核の過去・現在・未来. 日本小児医学会会報	1998		森 亨
15: 10-16			
主な日和見感染症の臨床像・診断・治療・予防. 結核症・	1998		和田雅子・
非定型抗酸菌症. 臨床と微生物 25(3): 319-323			森 亨
BCG 接種後の腋窩リンパ節腫大とその対応. 小児科	1998		森 亨
39(7): 835-840			

結核. プライマリ・ケア 21(2): 191-192	1998	森 亨
肺結核 up to date. 呼吸 17(7): 716-723	1998	森 亨
薬剤耐性結核. からだの科学 202: 2-8	1998	森 亨
再興感染症. 呼吸 17(8):833	1998	森 亨
BCG 接種の是非. 感染症と化学療法 4(4): 39-42	1998	森 亨
抗酸菌感染症における最近の臨床学的特徴. 分子呼吸器病 2(5): 27-33	1998	森 亨
子供と結核. 健康白書 No. 10. 感染症と子供の健康 99-102, 日本教職員組合	1998	森 亨
結核治療に non-compliant な患者への対応. 日本胸部臨床 57(10): 779-785	1998	森 亨
日本における結核の現状と問題点. 医学検査 47(10): 1514-1517	1998	森 亨
結核院内感染予防—その背景と対策. 臨床と研究 75(10): 2164-2168	1998	森 亨
難治結核への対応. ファルマシア 34(12): 1232-1236	1998	森 亨
結核の疫学的事項. 日本臨床 56(1): 227-231	1998	森 亨
BCG 接種. 呼吸 17(12): 1337-1341	1998	森 亨
結核の緊急課題と多剤耐性結核対策. 生活教育 43: 39-42	1999	森 亨
日本における HIV 感染結核の実態. 感染症 29(1): 26-34	1999	森 亨
多剤耐性結核感染症. 日本臨床 (別冊) 領域別症候群シリーズ 23: 192-194	1999	森 亨
今、結核を考える. 日本医師会雑誌 121(3): 321-335	1999	工藤翔二・森 亨他
日本における結核の現状. 臨床科学 35(3): 275-281	1999	森 亨
結核を巡る臨床と公衆衛生の接点. Medico 30(4): 13257-13271	1999	森 亨他
わが国の院内感染予防対策の現状と課題. 結核 74: 405-411	1999	穴戸真司・森 亨
最近の結核の実態. 臨床検査 435: 491-498	1999	森 亨
抗結核薬の副作用. レスピレーション 18(5): 499-504	1999	吉山 崇・森 亨
結核予防対策. 臨床と微生物 26(3):291-296	1999	森 亨
日本における HIV 感染抗酸菌症の実態. インフェクションコントロール 18(7): 714-718	1999	森 亨
結核症の現況. 感染と抗菌薬 2: 123-127	1999	森 亨

わが国における結核の現状と対策. 医学の歩み 189(11): 869-872	1999	森 亨
結核ー最近の動向から新しい治療法まで. 総合臨床 48(6): 1594-1598	1999	森 亨
結核を予防するには. Medical Digest 48: 10-15	1999	森 亨
結核予防ーBCG 接種. 予防接種. 現状と将来展望. ラジオたんぱ「メディカルダイジェスト」放送内容集. 1999.8.30, pp10-11	1999	森 亨
BCG 接種と化学予防. 小児看護 22(10): 1457-1461	1999	森 亨
結核の今日的課題. Mebio 16(11): 12-19	1999	森 亨
日本の結核問題と対策の課題. 診断と治療 87(10): 1804-1808	1999	森 亨
結核逆転上昇とプライマリケア. JIM 9(10): 929-933	1999	森 亨
結核に対する院内感染の予防と対策. 病院 58(10): 971-978	1999	中島由槻・森 亨
結核の再興ーその原因と対策ー. 3(21): 19-22	1999	森 亨
猛威をふるう結核ー現状とその背景. 看護展望 24(12): 1354-1360	1999	森 亨
結核 Medical Practice 16(11): 1827-1830	1999	吉山 崇・森 亨
結核. 感染症の診断・治療ガイドライン. 日本医師会雑誌臨時増刊 122(10): 268-273	1999	森 亨
BCG 再接種のあり方. 小児科診療 62(12): 2046-2052	1999	森 亨
結核菌の速診断. 小児科 40(12): 155-1552	1999	森 亨
結核と学校保健. 学校保健研究 41(4): 284-290	1999	森 亨
結核ー診断と治療の動向と課題. SRL 宝函 23(3): 136-139	1999	森 亨
日本における結核症の現状と問題点. 日本保険医学会誌 97: 3-14	1999	森 亨
DOTS. 生活教育 44(1): 46-47	2000	森 亨
結核の動向: 結核緊急事態宣言. 臨床医 26(1): 5-8	2000	森 亨
事業所における結核集団発生. 産業医学ジャーナル 23(1): 40-44	2000	森 亨
遺伝子診断により BCG による播種性病変と診断された 1 症例. 公衆衛生 65(1): 65-69	2000	明石都子・森 亨他